

令和5年度第2回市民活動推進委員会 ワークショップ成果 Aグループ

①時間×体力のミスマッチ	<p>高齢者が多い 時間に縛られずに活動できる 参加者は全世代 市内には多様な活動団体があるが、市民活動の意識が薄い 市民活動とは？ 直接目的を実行する人、参加する人 公民館活動と市民活動の意識を高める 市民活動の定義にあてはまらないが、活動に興味がある人は多い 生き残る活動 専門性・しこう性の活動 すべては無理 特徴がなくなる 今の世代に合わない 子ども時代の体験があるので 自然に触れて体を動かす 全世代 安全・安心でおいしいものを食べる 50代後半以上 小さいころ農作業を経験した世代 30～60代男性 リタイアを迎えて地縁がほしい（仕事外の友達） 30代 子育てしながら農にふれたい こどもといっしょに 50代後半～70代 子育て終了 自由時間大 多世代（目的多少違う）が同じ活動をする 自治会は高齢者VS現役 福祉の関心がある学生さんが主体的に参加 活動は第3日曜 8割が40代～60代 平日 8割が10代・20代 休日 活動日時により運営の世代・参加の世代が違う 活動内容に運営者層が左右される？ 障がいのある子どもたちと無い子どもたち（小～中学生）を対象として活動 障がいのある子どもたちは小学校低学年に偏っている 大宮周辺の高校生・大学生・大学院生が運営（10代後半～20代前半）</p>
②参加する喜び	<p>ボランティア活動証明書を発行している ボランティア活動証明書を発行している証明書ほしい⇒リピーター化 ベビーカーコンサートの運営ボランティア 海と日本プロジェクトクリーン活動（日曜） 運営に参加する喜び 残ってコアになる人が出る みんなが笑顔になる活動が大切</p>
③情報拡散の手軽さ×信頼性	<p>世代により情報発信・情報受信のツールが違う 理想は全世代を巻き込みたい 魅力ある活動は伝わっていく フリーで情報を出せるメディアを使う HPは必要（更新されていること！） 電子メディアをチェックしている人は多い 個人のツテは広がりに限界 発信する力と企業 理念の魅力 市報は信頼性up ベーシックな情報の広報がもっと必要 今まで参加者のいない地域から参加あり 紙のメディアは少ない</p>
④要・不要×維持するルール	<p>活動を周知しきれていない 活動に理解がある 地域と関係ない活動は行政の巻き込み 消防団はルールがあり外国人NG 制服必須で反対も つぶれる活動⇔価値が無い活動 活動の持続性とは？ 必要なルールと不要なルール</p>

令和5年度第2回市民活動推進委員会 ワークショップ成果 Bグループ

共有！
理念 価値観

- ・ひとりでもやり抜く覚悟 お金を払ってでも
- ・趣味に終わらせない「文化」へ 世に普及継承
- ・外向きVS内向き 充実感
- ・市民活動の意識を高めるには
- ・活動団体（個人）は多様であり、それらの活動がそれぞれの市民活動となるようにする
- ・幅広い世代で行うこと
- ・世代の垣根無く
- ・価値観や達成感の共有できればどんな世代もOK

- ・孤独⇒仲間 子育てママはグループになりやすいが、男性・高齢者は...
- ・一步広げて 異分野との連携 ちょっと前に出る
- ・②親子での参加（食育）

対外的外向き

- ・仕事の時間でない時間に活動
- ・必要とされる時間に行く

市民活動とは？

- ・市民活動とは？ 分かりません（前提）
- ・市民活動とは定義があるか

BALANCE！

対内的内向き

- ・自分のプライド 信頼の保持
- ・自分のため
- ・自分の時間でできる

広げるための相談・窓口

- ・どの世代でも活動をサポートする期間が必要 企画・広報
- ・市民活動についての情報提供が少ない（登録制度のハードル）
- ・小学生のサークル活動
- ・小学生の自分がメンバーみんなに活動証明書を発行するのは社会で有効か？
- ・リーダーから相談を受けた（子ども基本的な？）

SNS・対面 in person

- ・活動参加にハードルを感じている人たち SNS
- ・幅広い世代間とは 活動を推進する人・活動の対象
- ・活動に共感してもらおう HPだけでなくFace to Face
- ・ハードルを下げるおためし参加 対面の価値

それぞれの活動に広げる

- ・手話 40~80代の主婦層
- ・消防団 シニア世代
- ・水+田んぼ 地域に興味を持つ世代 50~80代
- ・水 田んぼ 子育てで子供にやらせたい 30~40代
- ・水 田んぼ 親についてくる子供たち 0~10代
- ・②大学生
- ・②若者世代
- ・②30代
- ・②現役世代
- ・活性化 道をきれいにすることで人が出てくる一般向（世代）広がる
- ・（世代）隣組（近隣住民）高齢化代わりにやる 同じようにきれいにして街の美化
- ・（世代）小中学生の通学路 良い環境 大人への感謝
- ・活動 草刈り 自分のところだけでなく通学路

- ・市民活動団体の拡充をする
- ・手づくりワークショップ 参加者2才~80代
- ・ハンドメイドグループ ママグループやマーケットイベント 男性・シニア・単身
- ・手芸 親世代~中心
- ・手芸 20代~シニア75才 月1~2回
- ・手芸 子育て中に始める
- ・手芸 第2の人生 シニア
- ・デザイン 先生60~80 個人30 学生にもおためし
- ・（神楽坂まちづくり）20代~60代
- ・（神楽坂）本業+αを求める世代
- ・（JSURP）幅広いつながりを求める世代

魅力	<p>①40代 子ども連合会 ①非現役世代 ①10代 フードバントリー ①40代～ 消防団 ①親子で一緒に体験 ①20代～70代 親世代 シニア世代 マママルシェ 男性 シニア 単身 ①60代～ 自治会 ①小中学生と高校生～大学生（大学院生） ①小中学生と高校生～大学生（大学院生） ①理念への魅力で終結する ①目的が異なるが活動は共通 ②全世代でおいしい農業 ②親子で楽しむ農業 種まきや草取りも親子で楽しめる ②学生に活動費を安く参加 おためし ②親主体から子ども主体へ ②魅力を感じてもらおう ②自分たちの活動を通じて、身近に感じてもらいたい 8割が40代～60代 ミドル 60代以降 同世代 60～ 子ども 小学生 10代 親子 子育て 園児 子どもたち デザイン団体 30～80代 インハウスデザイナー 個人 先生 個人 ものづくり 第2の人生シニア 参加者2才～80才 8割が10代・20代 クチコミ 誘い 高校生は可能性あり?! ボランティア活動証明書発行 ボランティア証明書 持続性 続けるきっかけ 親子が楽しむ 世代間交流 活動に共感した人が参加 活動する市内が分かれる ボランティア≠市民活動 社会的に認められている 内容に魅力が必要 魅力ある活動⇒好きになれる 好きでやる活動 学校や企業で求められている 身近な存在 リターンがある 年代は関係ない みこし（小人・大人） 太鼓（小人・大人） 入って辞めちゃう</p>
課題	<p>①リタイア世代 自由時間大 ②持ち出しは子育て世代に厳しい ②（在宅勤務が増えたので）現役世代 ②若年層少ない ②活動の内容周知（発信） ②高校生に広めていきたい ②外国人が少ない 平日のベビーカーコンサート運営ボランティア 海と日本プロジェクトクリーン活動日曜開催 土日なのか平日なのか 土日か平日かで参加できる年代層が違う セカンドライフの時間？ 活動日時に参加できる</p>

解決へ向けて

- ・市民活動の数が多いこと
- ・活動の周知
- ・参加しやすさ